

2017年林業経済学会秋季大会プログラム 2017年11月11日(土)

	A会場(大講義室)	座長	B会場(10番講義室)	座長	C会場(講義室A・B)	座長
9:00	ミニシンポジウム					
10:30	A3 TAN JIAZEら 社会経済要因が森林面積の変化に与える影響の地域性:中国を事例として	平野 悠一郎 (森林総合研究所)	移動	高橋 卓也 (滋賀県立大学)	移動	嶋田 大作 (福岡女子大学)
11:00	A2 呉 晨陽ら 中国における「林権改革」と農家の経営インセンティブ:江西省井崗山市を事例として		B1 藤掛 一郎 宮崎県民有スギ人工林を対象としたシミュレーションによる将来の素材生産可能量の検討		C1 峰尾 恵人ら 「企業の森」活動の意義と成功要因:近畿1府2県における事例研究から	
11:30	A1 呉 書通ら 中国・海南島五指山自然保護区の運営が地域住民に与えた影響		B2 段 麗君ら 経済成長とともに森林成長量に対する木材生産量はどうか? :FAO統計を用いた分析		C2 劉 妍 旧足尾町の再生・緑化事業をめぐる関連主体の活動と課題	
12:00	休憩		休憩		休憩	
12:45	テーマ別セッション趣旨説明 藤原 敬大・御田 成顕		(13:00~午後の部)		(13:00~午後の部)	
13:00	T1 岩永 青史ら ベトナムの森林保護政策における地域住民の生計向上と国立公園への侵入削減の効果	藤原 敬大 (九州大学)	B3 山本 伸幸 森林技術者の引揚・復員と戦後林業・林政:「人の移動」研究からのアプローチ	古井戸 宏通 (東京大学)	C3 長谷山 陽大 日本の保護地域における保護地域の管理効果評価の試み	大浦 由美 (和歌山大学)
13:30	T2 Kazi Kamrul Islamら Political Economy of People-oriented Forest Management in Bangladesh		B4 王 夢鶴ら 公的森林整備の事業評価の現状と課題:林野公共事業と森林環境税事業を事例に		C4 平原 俊 国有林管理のガバナンスにおける市民の位置づけ:赤谷プロジェクトを事例として	
14:00	T3 御田 成顕ら インドネシア、ジャワ島における国有林内耕作地の土地利用形態:東ジャワ州S営林署の事例	百村 帝彦 (九州大学)	B5 赤池 慎吾 体制移行期における林野の公益的機能と地域社会:高知県水源涵養保安林を事例に		C5 平野 悠一郎 日本の森林レクリエーションの発展に影響する制度的要因:誰が山道を使うことができるのか?	
14:30	T4 志賀 薫ら 灌漑稲作集落における国有林内耕作の意義:東ジャワ州の事例	御田 成顕 (九州大学)	B6 小菅 良豪ら 木質バイオマス発電所の木質資源安定供給に関する一考察:真庭バイオマス発電所の事例	C6 三ツ井 聡美ら 奄美大島「金作原生林」における今後の管理策に対する評価:ベスト・ワースト・スケーリングの適用		
15:00	T5 大田 真彦 現場森林官に焦点をあてた熱帯林政策の実施分析の可能性		B7 佐竹 望ら 国有林における木質バイオマス燃料材供給の実態に関する研究:東北地域を事例に	C7 寺崎 竜雄ら 沖縄県における持続可能な観光のためのローカルルールの実態		
15:30	T6 河合 真之 東カリマンタン州マハカム・ウルー県における開発の進展とREDD+主流化の可能性		B8 古俣 寛隆 現地調査を踏まえた東南アジア産 PKS 供給ポテンシャルの推定	C8 キャンセル	嶋田大作 (福岡女子大学)	
16:00	T7 藤原 敬大 インドネシアにおけるランドグラブと土地改革		B9 横田 康裕ら 発電用木材の安定供給体制の構築・運営における要点	C9 高橋 卓也ら 森林にかかわる主観的幸福度に影響する要因の探索:滋賀県野洲川流域を対象として	大地 俊介 (宮崎大学)	
16:30	T8 小池 浩一郎 森の民と科学的林学		B10 根本 和直ら 小規模事業者による木質バイオマス燃料の生産と流通実態の把握	C10 斉藤 奈央子ら 茨城県における林業用苗木生産の現状と課題:テナ苗生産に取り組む茨城県林業種苗協同組合青年部の生産者を事例に		
17:00	ディスカッション	藤原 敬大 御田 成顕 (九州大学)	B11 大津 裕貴ら 木質マテリアルの質を活かす利用方策	幡 建樹 (東京大学)	C11 安村 直樹ら 北海道における林業用苗木生産工程の把握:とくに季節性とその緩和に注目して	
17:30			B12 茂木 もも子ら 木材流通における取引情報の非対称性に関する一試論		C12 堀 靖人ら ヨーロッパにおける短伐期造林	
18:00	移動		移動		移動	
18:30			懇親会@中央食堂			

2017年林業経済学会秋季大会プログラム 2017年11月12日(日)

	C会場(講義室A・B)	座長	D会場(4番講義室)	座長
9:00	C13 大塚 生美ら 我が国における森林信託の可能性:伊万里木材市場の取組み	川崎 章恵 (九州大学)	D1 花本 沙希ら 消費者の住宅取得に関わる選択プロセスの解明:つくば市の新興住宅地を事例に	安村 直樹 (東京大学)
9:30	C14 木村 憲一郎 自治体林政の守備範囲の変容とその特徴		D2 鮫島 弘光 国内木材関連事業者の合法木材制度・クリーンウッド法への対応状況	
10:00	C15 キャンセル	立花 敏 (筑波大学)	D3 幡 建樹ら 首都圏における木材流通構造の現状	川崎 章恵 (九州大学)
10:30	C16 長坂 健司 スウェーデンの森林・木材産業関連アクター参加型政策形成過程:スウェーデン国家森林計画の事例研究		D4 奥山 洋一郎ら 鹿児島県におけるオガ粉需給の現状と課題	
11:00	C17 石崎 涼子 上級森林官と中級森林官:ドイツBW州森林行政における変化		D5 大石 卓史ら きのこ消費の現状と機能性への期待	
11:30	C18 松本 美香 集落内の土地所有者情報の保有実態:高知県A集落を事例として	佐藤 宣子 (九州大学)	D6 芳賀 大地 森林組合の人材育成に対する経営学習論的分析:鳥取県を事例に	
12:00	C19 吉野 聡 森林所有者を取り巻く環境別にみる森林所有権移動に対する意向:群馬県下仁田町を事例に		休憩	
12:30	休憩		(13:00~午後の部)	奥山 洋一郎 (鹿児島大学)
13:00	(13:30~午後の部)		D7 興梠 克久ら 韓国における林業人材育成	
13:30	C20 山下 詠子ら 東京都青梅市における入会林野の変遷:公益法人有になった事例より	佐藤 宣子 (九州大学)	D8 井上 真理子ら ドイツと比較した日本の森林・林業の専門教育の現状	田中 亘 (森林総合研究所)
14:00	C21 根津 基和 農山村把握と再生産表式の役割		D9 林田 朋幸 「山世話」による山林管理の変容過程:三重県松阪市飯高町の事例から	
14:30	C22 金森 啓介 森林団地施業の継続的実施が長期収支に与える経済的影響について:福井県における集約的施業・保育施業を事例に		D10 キャンセル	
15:00	C23 片山 傑士ら Iターン者による「自伐型林業」成立の条件	山下 詠子 (東京農業大学)	D11 川崎 章恵ら 主伐移行期における林業労働力の存在形態:大分県下森林組合を事例に	藤掛 一郎 (宮崎大学)
15:30	C24 高野 涼ら 山村社会の変容と地域の森林資源管理の展開に関する研究:宮城県米川生産森林組合を事例に		D12 尾分 達也ら 素材生産事業者の高性能林業機械導入と経営対応	
16:00	C25 キャンセル	志賀 薫 (森林総研)	D13 吉田 美佳ら 自伐林家グループによる林業機械共同利用の維持管理費用分析	
16:30	C26 三輪 綾香 都市狩猟者の実態		D14 田中 亘 御蔵島におけるツゲ材生産様態	
17:00		終 了		